

特集

熊本地震に学ぶ、 支援と受援の 体制づくり



2016年4月に起きた熊本地震。

その発生時から復旧期のこれまでを振り返り、支援する側と支援を受ける受援の側、双方の姿勢や体制について、さまざまな課題が見えてきた。DHEATの視点から見た課題と展望も加えて、災害対応のあり方についてあらためて考える。

- 熊本地震の特徴と県の災害対応を振り返って
支援体制・受援方針と保健師活動の課題を考える
- 【神戸市の取り組み】
熊本地震の発生直後から復興に向けた後方支援
保健師のマネジメント機能を中心に
- 母子保健の医療的支援と今後の課題
災害時小児周産期リエゾンの役割から
- DHEATの視点から考える大規模災害時の課題と展望
- 「大規模災害時における保健師の活動マニュアル」の意義と
活用のポイント